

6 年目の東益津 C・S をみんなで推進しよう

「第 1 回 C・S 協議会」：新たなスタート

5 月 2 8 日、C S 協議会が開催され、第 1 5 自治会長の鈴木さんを会長とする新体制がスタートしました。これまで 5 年間の成果と課題を基に、さらなる発展にみんなで取り組んでいきましょう。



令和 8 年度の C S 活動推進の「3 本柱」が承認されました。

◎ 1 「活動の成果や課題を共有する」

『やってみよう』を合言葉に取り組んだ活動の成果や課題を、いち早く多くの皆さんで共有できるよう、新たに“インスタ”を導入しました。【cshigashimashizu】をご覧ください。

子どもたちの元気一杯で楽しそうな活動ぶりと同時に、それを支えてくれている大人の皆さんの“舞台裏”や「大人の楽校」の活動の様子もお伝えしたいと思います。

◎ 2 「活動を次世代に“つなげる”」

『SDGs な取り組み』が期待されています。地域のお祭りや地域防災・地域づくりの活動などに、中学生が「地域貢献活動」として積極的に参加してくれることは、本当に心強いことです。

◎ 3 「学校と共にある地域づくり」

『地域を愛する益津の子』を目標に様々な取り組みが行われています。『楽しかった。がんばった。やって良かった』といった感動・喜び・達成感を短い言葉で心に残すことで、地域への愛着がより深まっていくことを期待し、【こども俳句】を呼び掛けていきます。少しずつ輪が広がっていくことを楽しみにしています。

◎「大人の楽校」のお手本

5月17日、山の手会館で「山の手未来の会」創立30周年記念の総会と懇親会が挙行されました。



「山の手桜祭り」等イベントに加え子どもたちが参加活動できる講座も開設し、夢を未来に開く「大人の楽校」のお手本です。

◎「“地域の歴史”にふれる楽しみ」

5月23日、ジュニアカレッジ「方ノ上城趾たんけん」が実施されました。今川氏「花倉の乱」の現地で“楽習”できました。



「狼煙のろし」等、戦乱の時代を必死に生きた「先人の智恵」を現地で身近に知ると、郷土への愛着がふくらんできます。

◎「ホタルに心いやされる」

5月30日夜、方ノ上八王子神社下の谷川で「ホタル観察会」が実施されました。「大蛍ゆらりゆらりと通りける 小林一茶」



ホタルを見た感動を、五七五の「俳句」に記すことに挑戦してもらいました。地域への愛着につながることを願っています。